

医療現場での「やさしい日本語」ロールプレイ ☆旭川医科大学病院編☆

シナリオ事例【腹痛による外来受診】

10月29日(2日前)から上腹部の腹痛が出現。家にある胃薬を内服したが、症状はさらに悪化した。10月31日朝、朝食は全く摂取できず、数回の嘔吐も認めた。熱が38度まで上昇し、不安になり1人で病院に来た。受付担当から問診表の記載について説明を受けた。看護師は、問診表を記載していた患者に腹部の症状に関する問診を行った。その後、患者は医師の診察を受け、検査(採血、腹部超音波、腹部CT)を受けた。検査後再度診察室に入り、医師から軽度の虫垂炎であり、院外処方内で内服の抗生物質が処方されると説明を受けた。

やさしい日本語に言い換えてみましょう。

受付～問診までの対応

1. 外来受付：どの国から来ましたか？この問診表にご記入をお願いします。
(当日はあらかじめ記入しておいた問診票を準備しておく)
2. 外来看護師：お名前を教えてくださいませんか？○さんですね。腹痛、吐き気があるのですね。いつから腹痛が出現しましたか？どのあたりが痛みますか？どの程度の腹痛ですか？吐き気はありますか？熱はありましたか(など)熱を測ります。体温計を脇に挟んでください。血圧を測ります。マンシュエットを腕に巻きます。腕が少し締め付けられます。

検査から診察までの対応

- (診察室に入る)
3. 外来担当者(職種問わず・看護師、事務)：このあと採血室、腹部超音波室、CT検査室で検査を受けてください。終わったらもどってきてこの紙を受付に出してください。その後、廊下の椅子に座ってお待ちください。
 4. 外来看護師：これから医師の診察と検査結果の説明があります。診察室にお入りください。
 5. 医師：(虫垂炎の診断)採血、腹部超音波、CT検査の結果、急性虫垂炎でした。炎症が軽度ですので内服の抗生物質を処方し経過をみます。熱、腹痛、嘔吐がおさまらない場合は、再度外来を受診してください。

診察後の対応

6. 外来看護師：1日3回毎食後に抗生物質の薬を1錠ずつ1週間飲んでください。薬は院外処方となります。院外処方箋を持ってお近くの薬局に行き薬を受け取ってください。

7. 外来受付：診察が終わりましたので、この後2階の料金精算窓口に行って料金をお支払いください。